

【今回の兼題】

- ① 春隣 はるとなり
- ② 梅 うめ



綾子

○少年の産毛光りて春隣  
日向ぼこネイルの爪のスマホ打つ  
○御先祖にお願いばかり梅の花



ゆの

母の郷梅が咲いたという報せ  
○さし色にアトリの赤を拝借す  
○少年のスノーボーひらりと冬銀河



紀美

白梅のなお満開や藪の中  
春隣マトリョーシカの声紅し  
○手と手して花一匁ひこばゆる

文子

去年植えし梅の蕾の二つ三つ  
○わび状の余白に一輪梅の花  
○春隣再び動く万歩計

丞子

○春隣日溜まりで待つ「ごめん」行き  
白梅のはっと目に留む荒れし庭  
牙返る読経の洩るる普通寺

農子

春隣水滴光る雨後の枝  
○梅の花大きな壺に投げ入れり  
午後の陽の昨日と違う春間近

瑞枝

包丁の音リズムミカル春隣  
部活なき体育館の余寒かな  
○春風や出前授業のオペラ歌手

初江

○紅葉の開くを見てる春隣  
鎌倉のあの寺この寺梅の花  
盆梅の又一つ減る兄の庭

郁子(土)

末黒野は暮れてひとすじ白き煙  
子雀のとべば揃ってあとつづき  
○天満宮絵馬の轟く春隣

山下 正雄 作品



自画像に絵の具のナイフ春隣  
頬杖し海見る少女梅ふふむ  
麦踏んで少年夢を語りだす



★次回市民句会

【開催日時】

令和八年三月二十五日(水)

午後一時十五分〜午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

【兼題】

① 雛まつり ② 木の芽

(他の題材でも構いません)

【初めての方へ】

市民句会は、俳句愛好者の集いです。  
どなたでも自由にご参加いただけます。  
事前申込や参加費は不要です。

